

前橋市立幼稚園の園内研修について

令和2年度市立幼稚園の園内研修の概要

これまで、前橋市立幼稚園の園内研修では、各園の課題解決に向けて主体的に遊ぶ幼児の姿を基に検証を進めてきました。その積み重ねの成果として、幼児は各園の「めざす姿」に向かい、教師は幼児を深く理解しようとしたり、環境の構成や援助を見直したりすることにつながりました。

今年度は、令和元年度の研修の成果をベースとしながら、3園（まえばし幼稚園、おおご幼稚園、宮城幼稚園）は以下の「共通テーマ」を基に、園内研修に取り組みました。

「共通テーマ」

- ・前橋市のめざすことも像 「多様な人と協働しながら、主体的・創造的に活動する子ども」
(※「まえばし幼児教育充実指針『めぶく』」より)
- ・園内研修のキーワード 「遊びの中の学び」

各園は共通テーマ、幼児の実態、課題、教師の願い等を踏まえ、研修主題を以下のように設定しました。

〔まえばし幼稚園〕

「自分で決めながら環境に関わり、工夫して遊ぶ幼児の育成」
～友達との関りを深められるような環境の構成に着目して～

〔おおご幼稚園〕

「遊びのなかから見える幼児の育ち」
～『認め』たり『認め』られたりする場面に着目して～

〔宮城幼稚園〕

「他学年とのかかわりを通して、自分のよさや特徴に気づき、自信をもって行動できる幼児の育成」

今年度は「共通テーマ」の他に、「写真（幼児の遊ぶ様子等）の活用」及び「まえばし幼児教育充実指針『めぶく』（以降『めぶく』）の研修用シートの活用」も共通事項としました。

「写真の活用」に関しては、昨年度の研修において、3園とも事例検討の際に活用しました。話し合いを可視化する有効な手段であることから、今年度の園内研修でも写真を取り入れることにしました。また、模造紙や付箋等も使用し、園内研修で話し合われたことを誰でも振り返ることができるような記録として残すようにしました。そうすることで、職員の誰もが研修内容を共有することができる資料となりました。

『めぶく』の研修用シートの活用は、『めぶく』に掲載されている研修用シートの形式を基としながらも、各園で使いやすいようにアレンジして活用することにしました。

加えて、今年度は外部の有識者の先生（大学教授等）に園内研修への継続的な参加と指導をいただきました。専門的な知見からの指導を受けながら、「幼児行動を理解する力」「幼児の心の動きを理解する力」「行動の意味を捉える力」等を深め、保育の改善、幼児の学びや育ちにつながる研修となるようにしました。